

福祉教育常任委員会及び予算審査特別委員会（第二分科会）

平成25年12月10日（火曜日）午前10時開会

出席委員（7名）

委員 長 鈴木 紀 君	副委員 長 大野 恭 男 君
委 員 相馬 剛 君	委 員 齊藤 誠 之 君
委 員 櫻田 貴 久 君	委 員 高久 好 一 君
委 員 金子 哲 也 君	

欠席委員（なし）

紹介議員（なし）

説明のための出席者

保健福祉部長 人 見 寛 敏 君	社会福祉課長 松 江 孝 一 郎 君
社会福祉課長補佐 塩 水 香 代 子 君	社会福祉係長 田 野 実 君
障害福祉係長 増 淵 剛 君	保 護 係 長 松 本 仁 一 君
子ども課長 赤 井 清 宏 君	保 育 係 長 北 村 議 徳 君
保育係主査（係長級） 菊 地 直 路 君	児童家庭係長 松 本 裕 之 君
高齢福祉課長 会 田 裕 司 君	高齢福祉課長補佐兼介護管理係長 荒 川 順 子 君
高齢福祉係長 高 塩 浩 幸 君	介護認定係長 室 井 富 美 子 君
国保年金課長 藤 田 恵 子 君	国保年金課長補佐兼国保年金係長 池 澤 直 実 君
国保年金課副主幹 菊 地 淳 子 君	医療給付係長 星 すみ枝 君
健康増進課長 柳 崎 修 造 君	健康増進課長補佐兼健康増進係長 織 田 智 富 君
保健予防係長 黄 木 文 子 君	教育部長 山 崎 稔 君
教育総務課長 菊 地 富 士 夫 君	教育総務課長補佐 薄 井 信 一 君
総務係長 相 馬 智 子 君	給食係長 齋 藤 芳 子 君
教育総務課学校整備推進室長 釣 巻 正 己 君	教育総務課学校整備推進室係長 加 藤 正 之 君

黒磯学校給食 共同調理場長 兼業務係長	高根 沢 威 夫 君	共英学校給食 共同調理場長 兼業務係長	大 澤 博 美 君
西那須野 学校給食 共同調理場長 兼業務係長	神 島 智 行 君	参事兼 学校教育課長	菊 池 紀 男 君
学校教育課長 補佐兼学校支 援係長	後 藤 修 君	学校指導係長	藤 田 健 司 君
児童生徒サポ ートセンター 所長	阿 美 享 子 君	生涯学習課長	稲 見 一 美 君
生涯学習課長 補佐兼生涯学 習係長	小 出 浩 美 君	文化振興係長	小 池 久 史 君
青少年係長	鎚 木 寛 子 君	黒磯公民館長	熊 田 茂 樹 君
スポーツ振興 課長	田 代 晴 久 君	スポーツ振興 課長補佐兼管 理係長	八 木 沢 茂 夫 君
スポーツ振興 係長	大 野 薫 君		

出席議会議務局職員

議事課長補佐 兼議事調査 係長	石 塚 昌 章 君
-----------------------	-----------

議事日程

1. 開 会
2. 委員長挨拶
3. 審査事項

〔保健福祉部〕

- ・保健福祉部長挨拶

〔健康増進課〕

予算審査

- ・議案第 79号 平成25年度那須塩原市一般会計補正予算(第8号)

〔社会福祉課〕

予算審査

- ・議案第 79号 平成25年度那須塩原市一般会計補正予算(第8号)

〔子ども課〕

- ・議案第 94号 那須塩原市保育園条例の一部改正について
- ・議案第107号 財産の取得について

予算審査

- ・議案第 79号 平成25年度那須塩原市一般会計補正予算(第8号)

〔高齢福祉課〕

予算審査

- ・議案第 79号 平成25年度那須塩原市一般会計補正予算(第8号)
- ・議案第 82号 平成25年度那須塩原市介護保険特別会計補正予算(第2号)

〔国保年金課〕

- ・議案第 111号 栃木県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び栃木県後期高齢者医療広域連合規約の変更について

予算審査

- ・議案第 79号 平成25年度那須塩原市一般会計補正予算(第8号)
- ・議案第 80号 平成25年度那須塩原市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- ・議案第 81号 平成25年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

〔教育委員会事務局教育部〕

- ・教育部長挨拶

〔教育総務課〕

予算審査

- ・議案第 79号 平成25年度那須塩原市一般会計補正予算(第8号)

〔学校教育課〕

予算審査

- ・議案第 79号 平成25年度那須塩原市一般会計補正予算(第8号)

〔生涯学習課〕

予算審査

- ・議案第 79号 平成25年度那須塩原市一般会計補正予算(第8号)

〔スポーツ振興課〕

予算審査

- ・議案第 79号 平成25年度那須塩原市一般会計補正予算(第8号)

4. その他

5. 閉会

開会 午前 9時58分

開会及び開議の宣告

鈴木委員長 改めましておはようございます。

先日の日曜日に、那須野が原ハーモニーホールでパイプオルガン記念コンサートの式典と、またコンサートに参加させていただきました。すごい迫力で、当初何かバロック音楽で静かに讃美歌でもやるのかなと思つたら、いやいや、意外にすごい迫力でした。そういった部分については、那須塩原市民にとっても音楽文化といえますか、そういった部分については非常に貴重な財産になったのかなと思いますし、また機会がありましたら、皆様、職員また委員の皆様も何らかの機会を見つけてコンサートにでも出かけてみてはと思います。

それでは、ただいまから福祉教育常任委員会、あわせまして、予算審査特別委員会第2分科会を開会いたします。よろしく願いいたします。

それでは、今定例会における委員会の審査の方法について申し上げます。

審査は、各担当課ごとに行い、それぞれ常任委員会審査、予算審査特別委員会第2分科会の順に審査を行います。本日10日は保健福祉部を先に審査し、保健福祉部が終了次第、教育部に入りたいと思います。

今定例会で当常任委員会に付託された案件は、条例案件1件、その他の案件2件、予算審査特別委員会に付託された案件のうち第2分科会で審査すべき案件は、一般会計及び特別会計の補正予算案4件でございます。

各委員には、慎重な上にも自由闊達な審査をお願いし、円滑な進行にご協力をお願いいたします。

保健福祉部の審査 午前10時00分

鈴木委員長 それでは、福祉部の審査を始めますので、初めに人見保健福祉部長からご挨拶をお願いいたします。

人見保健福祉部長 改めまして、おはようございます。

福祉教育常任委員会の委員の皆様には、大変お世話になっております。

また、先ごろの滋賀県湖南市への行政視察研修の際は、保健福祉部職員の同行をお聞き分けいただきまして、発達支援システムに関する先進地の視察をすることができましたことを心より御礼申し上げます。今後の本市の障害者福祉、発達支援にどのように生かしていくか、しっかりと研究をさせていただきたいと考えております。

本日は、保健福祉部といたしまして、一般会計・特別会計補正予算については5課が該当しておりますほか、保育園条例の一部改正、とようら保育園用地の取得、さらに栃木県後期高齢者医療広域連合規約の変更など11の案件についてご審議をいただくこととなります。

議案等の説明につきましては、要点を捉えた簡素な説明に心がけますので、どうぞご審議のほどよろしくお願いいたします。

鈴木委員長 ありがとうございます。

議案第79号の上程、説明、質

疑、討論、採決

鈴木委員長 それでは、健康増進課について審査を行います。健康増進課については、常任委員会に対する付託案件はありませんので、予算審査

特別委員会第2分科会に切りかえ、審査を行います。

健康増進課の皆様申し上げます。

議案の説明に当たりましては、簡潔明瞭をお願い申し上げます。

それでは、議案第79号 平成25年度那須塩原市一般会計補正予算(第8号)を議題といたします。

執行部の説明を求めます。

柳崎健康増進課長 (議案第79号について説明。)

鈴木委員長 ありがとうございます。説明が終わりましたので、質疑を許します。

質疑ありますか。

質疑ございませんか。

〔「ありません」と言う人あり〕

鈴木委員長 質疑がないようですので、質疑を終了いたします。

討論を許します。

討論ありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

鈴木委員長 討論がないようですので、討論を終了いたします。

採決いたします。

議案第79号 平成25年度那須塩原市一般会計補正予算(第8号)を原案のとおり可決すべきものとするにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

鈴木委員長 議案第79号は全員異議なく可決すべきものと決しました。

(その他について質疑、答弁。)

鈴木委員長 それでは、健康増進課の審査を終了いたします。

お疲れさまでした。

ここで執行部の交代のため暫時休憩いたします。

休憩 午前10時06分

再開 午前10時08分

鈴木委員長 それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

議案第79号の上程、説明、質疑、討論、採決

鈴木委員長 社会福祉課について審査を行います。社会福祉課については、常任委員会に対する付託案件がありませんので、予算審査特別委員会第2分科会に切りかえ、審査を行います。

社会福祉課の皆様申し上げます。

議案の説明に当たりましては、簡潔明瞭をお願いいたします。

それでは、議案第79号 平成25年度那須塩原市一般会計補正予算(第8号)を議題といたします。執行部の説明を求めます。

課長。

松江社会福祉課長 (議案第79号について説明。)

鈴木委員長 ありがとうございます。

説明が終わりましたので、質疑を許します。

質疑ありませんか。

高久委員。

高久委員 生活保護費関係、3款3項2目扶助費、これやっぱり人数がふえたということで、そういう理解でよろしいでしょうか。

鈴木委員長 課長。

松江社会福祉課長 受給している方の人数がふえている、そのほかにも医療費とかございますけれども、基本的には利用者がふえているというところ

ろです。

以上です。

鈴木委員長 いいですか。

ほかありますか。

齊藤委員。

齊藤委員 お疲れさまです。

今の扶助費、高久委員が言ったところなんですけれども、生活保護ということで、医療費が結局無料で受けられてしまうという解釈のもとで、病院めぐり、私は病気だといって病院、実は健康だったのに回ってしまうとか、そういった実情みたいなものというのは実際あるのかと、あと、その方はどう見ても健康なのに来ているときに、そういった方にはちょっと病院に行き過ぎとは言いづらいんでしょうけれども、そういった適切なアドバイスだったり指導だったりというものはしているかどうかをちょっとお聞きしたいんですが。

鈴木委員長 課長。

松江社会福祉課長 私から対応につきましての概要をご説明を申し上げまして、補足がありましたら係長からということでさせていただきすけれども、委員ご指摘のとおり、医療費につきましては基本的に定額、保護費のほうからということですので、必ずこういうものは金銭的な不安がなくかかれるというのが必要でございまして、そんな中で診療の中身につきましては、それぞれ受けた場合に各医療機関から報告書をいただきまして、それを、当方をお願いしている医者の方に適正な医療かどうかという判断をいただいております。

当市、本年度、私、今年度なので去年以前のことがわかりかねるところあるんですけれども、ことしの中では、これは過剰、かかり過ぎというようなことはなかったかと思っておりますけれども、一応そういう仕組みでチェックをするというような体制はつくってあるところでございます。

鈴木委員長 係長。

松本保護係長 今、課長からご説明がありました医療機関からの要否意見書というんですが、そちらのほうで嘱託医のほうのチェックを受けるというのが1つと、あともう1点、現在レセプト管理システムというものがあまして、医療機関を受診するとレセプトという診療報酬明細書ですね、それがございます。それがデータ通信でこちら市役所のほうに全部届きますので、その中身をチェックいたしまして、例えば同じ病気で何カ所も病院をかかっているとか、あるいは病院に行き過ぎているとか、そういったものが発見された場合には、それを担当のケースワーカーに伝えまして、頻回受診、重複受診のないようにということでの指導は行っております。

齊藤委員 ありがとうございます。

鈴木委員長 ほか質疑ありますか。

〔発言する人なし〕

鈴木委員長 それでは、質疑がないようですので、質疑を終了いたします。

討論を許します。

討論ございますか。

〔発言する人なし〕

鈴木委員長 討論がないようですので、討論を終了いたします。

採決いたします。

議案第79号 平成25年度那須塩原市一般会計補正予算(第8号)を原案のとおり可決すべきものとするにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

鈴木委員長 異議がないものと認め、議案第79号は全員異議なく可決すべきものと決しました。

(その他について質疑、答弁。)

鈴木委員長 それでは、社会福祉課の審査を終了いたします。

お疲れさまでした。

ここで執行部の交代のため暫時休憩いたします。

休憩 午前10時25分

再開 午前10時27分

鈴木委員長 それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

議案第94号の上程、説明、質疑、討論、採決

鈴木委員長 子ども課所管の常任委員会審査を行います。

子ども課の皆様申し上げます。

議案の説明に当たりましては、簡潔明瞭をお願いを申し上げます。

それでは、議案第94号 那須塩原市保育園条例の一部改正についてを議題といたします。

執行部の説明を求めます。

赤井子ども課長（議案第94号について説明。）

鈴木委員長 説明が終わりましたので、質疑を許します。

質疑ありませんか。

〔発言する人なし〕

鈴木委員長 質疑がございませんので、討論を許します。

〔発言する人なし〕

鈴木委員長 討論がないようですので、採決いたします。

議案第94号 那須塩原市保育園条例の一部改正についてを原案のとおり可決すべきものとする事にご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

鈴木委員長 議案第94号は全員異議なく可決すべきものと決しました。

議案第107号の上程、説明、質疑、討論、採決

鈴木委員長 次に、議案第107号 財産の取得についてを議題といたします。

執行部の説明を求めます。

課長。

赤井子ども課長（議案第107号について説明。）

鈴木委員長 説明が終わりましたので、質疑を許します。

櫻田委員。

櫻田委員 とうら保育園の土地の取得については何ら問題はないんですが、これ改めてとうら保育園の今後の日程ですね、タイムスケジュール。本当に詳しく詳細に、定員なんかもそうなんですけれども、その辺決まっている範囲でお伺いします。

鈴木委員長 課長。

赤井子ども課長 ただいま移管事業者の今、募集をしまして、募集は4事業者ございました。評価委員会は既に11月22日に第1回目を行いまして、昨日はその応募してきた事業者の施設に訪問しております。今後は、15日に事業者のプレゼンを受けまして、1月20日に第4回目の評価委員会を開きまして、そこで点数づけを行います。最終決定が1月27日に選定委員会がございますが、この選定委員会の中で移管先事業所を決定となります。

以上でございます。

鈴木委員長 櫻田委員。

櫻田委員 大丈夫です。

鈴木委員長 課長。

赤井子ども課長 定員でございますが、現在90名の定員でございますが、今度新しく移転したところの申請、とようら保育園については定員が120名になる予定でございます。

さらに詳細に申し上げますと、移管事業者が決まりましたら、26年度に実施設計をしてもらいまして、27年度に本体工事、28年度からオープンというような予定となっております。

以上でございます。

鈴木委員長 櫻田委員。

櫻田委員 平成26年に実施設計で平成27年で……

赤井子ども課長 本体工事。

櫻田委員 本体工事ね。平成28年4月にオープンだね。

赤井子ども課長 はい。

鈴木委員長 金子委員。

金子委員 選定委員会いつって言っていましたか。

赤井子ども課長 1月27日。

金子委員 1月27日。

鈴木委員長 櫻田委員。

櫻田委員 あと1点なんです、恐らく認定こども園というような形でいいんですかね。

鈴木委員長 課長。

赤井子ども課長 保育園という形になります。

鈴木委員長 櫻田委員。

櫻田委員 90名から120名に増員した理由ですね。

鈴木委員長 課長。

赤井子ども課長 もともと那須塩原市は要するに入園待ち児童が多いので、それを幾らかでも解消しようということで定員増となっております。

鈴木委員長 櫻田委員。

櫻田委員 これ30名ふやしたことによって、どのぐらい、30名はもちろん解消できると思うんで

すが、例えば何で150にしなかったとかといういろいろあると思うんですけども、これ何か決まりがあるんですか。そここのところをちょっと。

鈴木委員長 課長。

赤井子ども課長 定員には別段、認可保育園でしたら60名以上の場合は認可保育園なんです、定員の上限はございません。200名というところもありますし。とりあえず90名から200名とかはできませんし、今度は永田保育園でやっていますが、あそこも90名から30名ということで、徐々にというか、一遍にはふやすのは移管した、受けたところもちょっと大変でしょうし、とりあえず30名というような形でございます。

鈴木委員長 櫻田委員。

櫻田委員 永田保育園の場合は、実は地方都市リノベーションですよ。駅から1km。ここ1km以内だったら大丈夫なんですよ、あれ一応決まりが。地方都市リノベーションに申請するやつで。とようら保育園もできれば、あれは駅から1km、直線で結んだら1km以内だと思うんですけども、そういった。

北村保育係長 とようら保育園については、ぎりぎり1km超えているんですよ。ただ、若干超えていたとしても、国等の協議を積みば適用になる可能性はあるらしいんですが、ただ、リノベの場合は基本的に本体工事の2分の1が国庫補助として入ってくると。一方、国の安心こども基金という補助事業があるんですが、そちらのほうだと最大で事業費の4分の3が補助が入ることなので、事業者のほうから見れば、安心こども基金を活用したほうが財源的に余裕が出てくるということで、私どもとしては安心こども基金のほうを活用するというで考えています。

鈴木委員長 櫻田委員。

櫻田委員 こども安心の基金も来年3月で恐らく

一通りのめどを迎えると思うんですが、こういった基金を使うのに、この実施計画だと十分間に合うというような認識でよろしいのでしょうか。

鈴木委員長 課長。

赤井子ども課長 安心こども基金は、毎年毎年これ延長していくような形で、何年まで先と決まっていけないんですね。毎年毎年やっているわけなんですけど、今回も新年度予算のほうに入っておりますけれども、今回も認定こども園で施設の要望が上がっておりますが、それも県協議終わりました、安心こども基金でやっていける予定になっております。

鈴木委員長 よろしいですか。

ほかに質疑ございますか。

齊藤委員。

齊藤委員 すみません、今櫻田委員が言っていたこともちょっと似ているというか、あれなんですけれども、30名ほど増員できれば、ふやすと大変だという話なんですけど、とようら保育園自体のキャパ自体はもう120でつくっちゃうのか、それともまだふやせる余地がある状態で、そういった質問なんですけれども。

鈴木委員長 課長。

赤井子ども課長 その120名で条件つきで募集をしているわけですが、その後は、決まった事業者と協議をしまして、定員120ぴったりでつくるのか、あるいは弾力的に120、130まで弾力的につくるのか、その辺はこれから決まった事業者と協議をしていきたいと思えます。

鈴木委員長 副委員長。

大野副委員長 定員の話なんですけど、90から120にふやして30ふえますけれども、待機児童の解消ということで増員した形で募集をかけると思うんですが、実際、待機児童の子どもたちというのは、要するにゼロ歳児から2歳児ぐらいの方が多いい

じゃないですか。3歳からだと大体幼稚園とか行っちゃいますので。その点をゼロ歳から2歳児に重きを置いた形でやってくださいよというような指示とかというのは、出しているわけですか。

鈴木委員長 係長。

北村保育係長 とようら保育園については、一般的な保育園という前提で募集のほうをかけておまして、ゼロから5歳児の合計の定員として、先ほど課長が申し上げたとおり120名という枠でつくってくださいというのが1つあります。

今お話があったゼロ・2歳を中心というところは、認定こども園を今の私立幼稚園に移行してもらいましょうという施策を保育園整備計画のほうで打ち出しておまして、その中で幼稚園というのは3歳児以上じゃないと基本的に入れられない保育施設になっておりますので、その幼稚園が認定こども園になれば、ゼロ・2歳児を今は空き教室を利用したりとか、そういったことで対応できるということで、幼稚園の認定こども園のほうでゼロ・2歳児をすくっていくということで基本的には考えております。

大野副委員長 了解しました。

鈴木委員長 ほかありますか。

人見保健福祉部長 委員長、補足の説明で。

鈴木委員長 部長。

人見保健福祉部長 6月の議会で議決をいただきました保育園整備計画後期計画の中で、先ほど子ども課から説明がありました部分については、地域のバランスとか、そういったものを考慮して、例えば保育園、民間の保育園の定員も決めておりますし、幼稚園も、民間幼稚園も認定こども園のというところに対応するというふうなところも決めさせていただいて、それに基づいて今回のとようら保育園の120というふうな定員で出させていただいておりますので、ぜひともその計画のほう

もごらんいただければありがたいと思います。

以上です。

鈴木委員長 じゃ、私のほうからいいですか。

定員120ということですが、年齢の枠があると思うんです。ゼロ歳から2歳とか。その年齢の枠と、それに応じて今度は保育士さんも当然就職するわけでしょうから、どの程度の人数確保といいますが、保育士さんの確保とその今言ったゼロ歳から2歳までが何人なのかという、そこら辺のところの内訳をちょっとお聞きしたいと思います。

課長。

赤井子ども課長 まず、新生とようら保育園には、現在とようら保育園に通っている子どもが優先的に入っていくわけですね。保育士の配置については、その基準値がありまして、ゼロから2歳児は3人に1人とか、その年齢によって配置数が変わります。だから、実際にはその見込み数といいますが、何歳児に何名、何名とその枠が決まってから保育士の配置になりますけれども、保育士の配置もできるだけ公立の今保育園で臨時保育士になっている方を優先的にとってもらおうというような方法をとっております。配置については、園児の数が決まってからになります。

鈴木委員長 わかりました。

質疑ほかにございますか。

高久委員。

高久委員 今、保育士の数の配置の問題がありましたけれども、保育士の質の問題、臨時で入っている方を優先的に採用するという話が出ましたけれども、質の問題はどうなんでしょうか。新任とか。質を上げていく問題とか。

北村保育係長 保育園整備計画が主に入園待ちや定員の弾力的運用を目的とした受け皿、ハードに特化した計画になっているんですが、当然ソフト

面の質の向上というところは重要な課題だと考えておりまして、市としては、保育園アクションプログラムという保育士の質の向上を目指した計画をつくっております、それに基づいて例えば市主催の研修会を充実して、保育士の人たちに参加していただいたりとか、あとは第三者評価という社会福祉事業を客観的に評価する仕組みがあるんですが、そちらのほうを導入して各保育園の保育の質はどうかというところを評価してもらって、それを検証した上で今後の保育の内容に反映していったりとか、そういった取り組みはしております。

鈴木委員長 高久委員。

高久委員 基準の話がさっきから出ていますけれども、県の基準で10月1日で39人という話になって、申し込みの重なっている部分では149人というように聞いているんですが。

鈴木委員長 ちょっといいですか、財産の取得についてなので、その他のほうでそれはやっていただければ。

質疑ほかにございませんか。

齊藤委員。

齊藤委員 すみません、わからないので教えてほしいんですけど、民営化ということで、さっき10年間というシステムを聞いたんですが、市としてのかかわり方、民営化が起きて、始まっている間の市としての間接的な、直接的なやり合い、指導であったりというものは、民営化が始まった途端にどのぐらいの割合でウエートを占めるのかというのをちょっとお聞きしたいんですけども。

鈴木委員長 課長。

赤井子ども課長 民営化になる前には、現在の、例えばとようら保育園でしたらとようら保育園の保護者、それと事業者、それと市、子ども課が入りまして協議をやっていきます。民営化にスムー

ズに移行できるように、いろいろ項目のすり合わせとかやっています、民営化になった後でも、新しい事業者が来るものですから、そこへまだ同じく三者会議という形で半年か1年ぐらいは子ども課が入って調整をしていくというような形になります。

鈴木委員長 ほかありますか。

〔「なし」と言う人あり〕

鈴木委員長 質疑がないようですので、討論を許します。

〔「なし」と言う人あり〕

鈴木委員長 討論がないようですので、採決いたします。

議案第107号 財産の取得についてを原案のとおり可決すべきものとすることにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

鈴木委員長 議案第107号は全員異議なく可決すべきものと決しました。

議案第79号の上程、説明、質疑、討論、採決

鈴木委員長 ここで常任委員会審査を予算審査第2分科会審査に切りかえます。

議案第79号 平成25年度那須塩原市一般会計補正予算（第8号）を議題といたします。

執行部の説明を求めます。

課長。

赤井子ども課長（議案第79号について説明。）

鈴木委員長 説明が終わりましたので、質疑を許します。

質疑ありますか。

櫻田委員。

櫻田委員 委託料の話なんですが、委託料は何ページでしたっけ。

〔「7ページの一番下」と言う人あり〕

櫻田委員 この委託料のやつで、児童福祉総務事務費の新規のやつなんですけれども。

〔「6ページのほうですか」と言う人あり〕

櫻田委員 はい、6ページの。新規なので、今までこういった事業をしていたわけですよ。それを改修するというのでいいんですよ。認識は。

鈴木委員長 課長。

赤井子ども課長 そのとおりです。改修ということになります。

櫻田委員 ということは、例えばこういった業者が現在やっているのかということと、あとこれ入札ですよ、通常。どうなんですか。

鈴木委員長 課長。

赤井子ども課長 業者が電算事業者とありますが、そういった事業者がごいますけれども、そこから見積もりをもらっておりますが、金額的には、この金額ですから当然入札になると思います。

鈴木委員長 ほかに質疑ありますか。

齊藤委員。

齊藤委員 すみません、きのうの議会でも言っていたんですけど、7ページの永田保育園の管理委託事業でしたよね。これ700万でしたっけ、その内訳で、灯油のほうは百何万ということであと残りが遊具等撤去ということで、今初めて植木等の移動と伐採という追加項目があったんですけども、結構500万ってすごい金額なんですけど、あと何があってそんなにかかるんでしょうか。

鈴木委員長 課長。

赤井子ども課長 この遊具等の中には樹木の移設、伐採等も含んでおりますが、その内訳でございますが、まず遊具等につきましては、まず移設がブ

ランコ2つにジャングルジムでございます。それと撤去のほうは滑り台、上り棒、シーソー、太鼓橋、パンダの置物等でございます。そのほか、タイヤの処分が23本ございます。

樹木のほうは、移設が7本、これが大山公園のほうに移設して、園舎が完成したらまたこっちに持ってくる。それと、伐採、抜根がトチノキとかイチヨウとかサザンカ、そういうものを含めまして47本の伐採、抜根でございます。

その他の撤去としましては、フェンス撤去、掲示板撤去、門扉ですね。あと外灯の撤去等でございます。これで予算としましては598万5,000円となっております。

鈴木委員長 齊藤委員。

齊藤委員 そうすると、樹木が一番ウエートを占めているということによろしいんですか。

赤井子ども課長 そうです。

齊藤委員 ほかのを見るときの不用品の値段と比べたかったので。すみませんでした。ありがとうございました。

鈴木委員長 ほかに質疑ございますか。

〔発言する人なし〕

鈴木委員長 質疑がないようですので、質疑を終了いたします。

討論を許します。

討論ございますか。

〔「なし」と言う人あり〕

鈴木委員長 討論がないようですので、討論を終了いたします。

採決いたします。

議案第79号 平成25年度那須塩原市一般会計補正予算(第8号)を原案のとおり可決すべきものとするにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

鈴木委員長 議案第79号は全員異議なく可決すべ

きものと決しました。

(その他について質疑、答弁。)

鈴木委員長 それでは、子ども課の審査を終了いたします。

お疲れさまでした。

ここで10分間休憩といたします。

休憩 午前11時06分

再開 午前11時15分

鈴木委員長 それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

議案第79号の上程、説明、質疑、討論、採決

鈴木委員長 高齢福祉課について審査を行います。高齢福祉課については、常任委員会に対する付託案件がありませんので、予算審査特別委員会第2分科会に切りかえ、審査を行います。

高齢福祉課の皆様申し上げます。

議案の説明に当たりましては、簡潔明瞭をお願いをしたいと思います。

それでは、議案第79号 平成25年度那須塩原市一般会計補正予算(第8号)を議題といたします。執行部の説明を求めます。

課長。

会田高齢福祉課長 (議案第79号について説明。)

鈴木委員長 説明が終わりましたので、質疑を許します。

相馬委員。

相馬委員 ねんりんピックの実行委員ということ

なんですが、どういう方で、仕事の内容はどうされるのでしょうか。

鈴木委員長 課長。

会田高齢福祉課長 ねんりんピックの実行委員会のほうで雇用する臨時職員は、うちのほうで募集をしまして、特に条件的なものはございません。

1日フルタイムで働いていただいて、仕事をお願いするものは、ねんりんピックの関係でいろんな雑務がありますので、そういったものを一手に引き受けていただくような形で、事務職のやはり補助という形で1日お願いをします。

鈴木委員長 相馬委員。

相馬委員 特別これと決まった事務があつてということではないわけですか。

会田高齢福祉課長 はい。

鈴木委員長 齊藤委員。

齊藤委員 今の同じ相馬委員のところなんですが、実質何人を募集する予定でしょうか。

鈴木委員長 課長。

会田高齢福祉課長 今回の予算計上した人員については1名の予定です。

鈴木委員長 ほかにございますか。

櫻田委員。

櫻田委員 すみません、じゃ6ページ、街中サロン事業、501事業についてなんですが、この東那須野街中サロン事業の概要ですね。そこをちょっとお聞きします。

鈴木委員長 課長。

会田高齢福祉課長 こちらについては、ことしの5月ということで開始をいたしまして、NPO法人キャリアコーチというところがこの街中サロンのほうの運営を行っております。現在こちらのほうでやっている事業については、キャリアコーチのほうから講師が来て、パソコン教室とか、それとその他各種の談話的なものがメインになって

きますけれども、そういったものを行っておりまして、現在のところ、パソコン教室がちょっとした目玉という形で実施をされております。

鈴木委員長 櫻田委員。

櫻田委員 大体どのくらいの、何人ぐらいが利用しているんですか。

鈴木委員長 課長。

会田高齢福祉課長 こちらのほうは始まったばかりということで、まだ軌道に乗る以前の状況といえますか、10月末現在で6カ月経過しまして延べ648名ということで、ほかの2カ所から比べるとまだまだ努力が足りない、これからの街中サロンという形になります。

鈴木委員長 櫻田委員。

櫻田委員 今、確かに黒磯の駅前なんかに比べるとまだまだ数が少ないというんですが、パソコン教室とか、こういったニーズですよ。そのニーズはどういうふうに捉えているのか。確かにパソコン教室がメインですよといっても、ほかのいろんなニーズ、これからそういった部分の施策にどうやって展開していくのかという考えを聞きたい。

鈴木委員長 課長。

会田高齢福祉課長 やはり東那須単独で行っていくということに関しましては、なかなか難しいところがありますので、市内には西那須野なじみ庵とか、よきお手本がありますので、今年度中にこの3カ所で連絡会議的なものを持ちまして、情報交換をして少しレベルアップを図りたいなというふうに考えております。

鈴木委員長 ほかに質疑ございますか。

高久委員。

高久委員 介護保険特別会計繰出金というものが計上されているんですが、この内容を聞かせてもらいたい。

鈴木委員長 課長。

会田高齢福祉課長 介護保険の特別会計のほうで詳しくはご説明申し上げますけれども、介護のほうで保険給付費が今回補正を大幅にさせていただいておりますので、その分での市の持ち出し分ということでの繰出金と、一般会計からの繰出金という形になります。

鈴木委員長 いいですか。

ほかにございますか。

〔発言する人なし〕

鈴木委員長 質疑がないようですので、質疑を終了いたします。

討論を許します。

ありますか。

〔発言する人なし〕

鈴木委員長 討論がないようですので、討論を終了いたします。

採決いたします。

議案第79号 平成25年度那須塩原市一般会計補正予算（第8号）を原案のとおり可決すべきものとするにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

鈴木委員長 議案第79号は全員異議なく可決すべきものと決しました。

議案第82号の上程、説明、質疑、討論、採決

鈴木委員長 次に、議案第82号 平成25年度那須塩原市介護保険特別会計補正予算（第2号）を議題といたします。

執行部の説明を求めます。

課長。

会田高齢福祉課長 （議案第82号について説明。）

鈴木委員長 ありがとうございました。

説明が終わりましたので、質疑を許します。

高久委員。

高久委員 一番最後の説明なんですが、定員を満たす入所ということだと、当然入所待機者が生まれているということだと思いますが、現在の人数と解消の見通しなどを聞かせていただけたら。

鈴木委員長 入所者ということでもいいんですか。

現在の入所者と待機者ということでしょう。

課長。

会田高齢福祉課長 ことし9月末現在で233名の方が現在入所待機をしているという状況です。

鈴木委員長 いいですか。

ほかに質疑ございませんか。

〔発言する人なし〕

鈴木委員長 それでは、質疑がないようですので、質疑を終了いたします。

討論を許します。

討論ありますか。

〔「なし」と言う人あり〕

鈴木委員長 討論がないようですので、討論を終了いたします。

採決いたします。

議案第82号 平成25年度那須塩原市介護保険特別会計補正予算（第2号）を原案のとおり可決すべきものとするにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

鈴木委員長 議案第82号は全員異議なく可決すべきものと決しました。

（その他について質疑、答弁。）

鈴木委員長 それでは、大変お疲れさまでした。

ここで執行部交代のため暫時休憩いたします。

休憩 午前11時35分

再開 午前 1 1 時 3 7 分

鈴木委員長 それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

議案第 1 1 1 号の上程、説明、
質疑、討論、採決

鈴木委員長 国保年金課所管の常任委員会審査を行います。

国保年金課の皆様申し上げます。

議案の説明に当たりましては、簡潔明瞭にお願いしたいと思います。

それでは、議案第111号 栃木県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び栃木県後期高齢者医療広域連合規約の変更についてを議題といたします。

執行部の説明を求めます。

課長。

藤田国保年金課長 （議案第111号について説明。）

鈴木委員長 説明が終わりましたので、質疑を許します。

質疑ございませんか。

〔「ありません」と言う人あり〕

鈴木委員長 質疑がないようですので、討論を許します。

〔「なし」と言う人あり〕

鈴木委員長 討論がないようですので、採決いたします。

議案第111号 栃木県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び栃木県後期高齢者医療広域連合規約の変更についてを原案のとおり可決すべきものとするにご異議ござ

いませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

鈴木委員長 議案第111号は全員異議なく可決すべきものと決しました。

議案第 7 9 号の上程、説明、質
疑、討論、採決

鈴木委員長 ここで常任委員会審査を予算審査第2分科会審査に切りかえます。

議案第79号 平成25年度那須塩原市一般会計補正予算（第8号）を議題といたします。

執行部の説明を求めます。

課長。

藤田国保年金課長 （議案第79号について説明。）

鈴木委員長 説明が終わりましたので、質疑を許します。

質疑ございませんか。

〔発言する人なし〕

鈴木委員長 質疑がないようですので、質疑を終了いたします。

討論を許します。

〔「なし」と言う人あり〕

鈴木委員長 討論がないようですので、討論を終了いたします。

採決いたします。

議案第79号 平成25年度那須塩原市一般会計補正予算（第8号）を原案のとおり可決すべきものとするにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

鈴木委員長 異議がないものと認め、議案第79号は全員異議なく可決すべきものと決しました。

議案第80号の上程、説明、質疑、討論、採決

鈴木委員長 次に、議案第80号 平成25年度那須塩原市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）を議題といたします。

執行部の説明を求めます。

課長。

藤田国保年金課長（議案第80号について説明。）

鈴木委員長 説明が終わりましたので、質疑を許します。

質疑ございますか。

ありませんか。

〔「ありません」と言う人あり〕

鈴木委員長 質疑がないようですので、質疑を終了いたします。

討論を許します。

〔「ありません」と言う人あり〕

鈴木委員長 討論がないようですので、討論を終了いたします。

採決いたします。

議案第80号 平成25年度那須塩原市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）を原案のとおり可決すべきものとするにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

鈴木委員長 議案第80号は全員異議なく可決すべきものと決しました。

議案第81号の上程、説明、質疑、討論、採決

鈴木委員長 次に、議案第81号 平成25年度那須

塩原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）を議題といたします。

執行部の説明を求めます。

課長。

藤田国保年金課長（議案第81号について説明。）

鈴木委員長 説明が終わりました。

質疑を許します。

高久委員。

高久委員 169万といいますと、職員1人ということですか。

鈴木委員長 課長。

藤田国保年金課長 後期高齢の広域連合のほうに1名職員の派遣をしておりますので、その1名分の減となります。

以上です。

鈴木委員長 いいですか。

ほかに質疑はありますか。

〔発言する人なし〕

鈴木委員長 質疑がないようですので、質疑を終了いたします。

討論を許します。

討論ございますか。

〔「なし」と言う人あり〕

鈴木委員長 討論がないようですので、討論を終了いたします。

採決いたします。

議案第81号 平成25年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）を原案のとおり可決すべきものとするにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

鈴木委員長 議案第81号は全員異議なく可決すべきものと決しました。

次第にはございませんが、その他で委員の皆さま

んから何かございますか。ありませんか。

〔発言する人なし〕

鈴木委員長 国保年金課の皆様方何かございますか。

〔「特にありません」と言う人あり〕

鈴木委員長 それでは、国保年金課の審査を終了いたします。

ここで執行部の交代のため暫時休憩いたします。

なお、市民課につきましては今定例会において本委員会に対する付託案件はございません。

以上で、保健福祉部の今定例会における常任委員会、予算審査特別委員会は終了となりますが、保健福祉部全体として何かございますか。

〔「ありません」と言う人あり〕

鈴木委員長 なければ、以上で終了いたします。

お疲れさまでした。

ここで暫時休憩いたします。

休憩 午前 11時48分

再開 午後 零時58分

鈴木委員長 それでは、若干時間が早いようなのですけれども、休憩前に引き続き会議を開きます。

教育部審査 午後 零時58分

鈴木委員長 教育部の皆さん、改めましてこんにちは。

それでは初めに、山崎教育部長からご挨拶をいただきたいと思います。

山崎教育部長 皆さん、こんにちは。

本日は非常に寒い中、お疲れさまです。今回は予算審議になろうかと思ひます。予算の関係であ

りますが、教育部といたしましては、この12月には26年度予定しております小中学校の耐震改修事業、28億からの事業になります。これが大きな事業費となるかと思ひます。

ご案内のように26年度の前倒しということで、今年度中に予算化をしてできるだけ年度の初めからそういった事業に早く着手し、かつ事業の完了をみたいということで、国のほうの予算の増額関係のいいところを取り入れながら、加速してやっていこうということで、事業費を先取りする形で予算計上させていただきました。

そのほか、学校教育課、生涯学習課も同じように、若干福祉部門とかぶるところもありますけれども、放課後児童クラブへの対応ということで、増額補正のあれでも出ています。

あとは、この秋に非常に電気料のアップということがありまして、通年の予算からするとそういった光熱費等各施設等で不足をしております。それらの補正、そんなことで今回、増額補正の要求をさせていただきます。

また、スポーツ振興課のほうで幾らか施設等の修繕、あるいは急遽改修等をしなければならぬような、そういったこともありますので、今議会に提出している補正予算の件についても、いずれも重要な案件でございますので、慎重審議の上、ご決定を賜ればと考えています。どうぞよろしくお願ひいたします。

鈴木委員長 ありがとうございます。

教育総務課の審査

鈴木委員長 それでは、教育総務課について審査を行います。教育総務課については常任委員会に対する付託案件がありませんので、予算審査特

別委員会第2分科会に切りかえ審査を行います。

教育総務課の皆様申し上げます。

議案の説明に当たりましては、簡潔明瞭をお願いを申し上げたいと思います。

議案第79号の上程、説明、質疑、討論、採決

鈴木委員長 それでは、議案第79号 平成25年度那須塩原市一般会計補正予算(第8号)を議題といたします。

執行部の説明を求めます。

課長。

菊地教育総務課長 (議案第79号について説明。)

鈴木委員長 説明が終わりましたので、質疑を許します。

櫻田委員。

櫻田委員 何点かお聞きします。

まず13ページで、西那須野共同調理場の電気代が690万。私もオール電化の家なのですが、本来ですと、インシャルをかけてランニングが上ったのでは、元も子もないと思うのです。それで、恐らく当時、こういった施策をするのに、オール電化にすればと思ったのですが、これは今後、電気代が今の状況だとわからないわけではないですか。

そこで、明らかに電気代がどんどん上がっていくわけなのですが、これは東電のあの事故さえなければ、こんなことにはならなかったと思うのです。電気代がこんなに上っていくという部分はね。それを考えると、こういった今後の東電の賠償とかみ合わせていくのかどうか。

その辺の考えと、あとやっぱりこれ、690万の

電気代というのは、すごくばかにならないと思うのですが、今後、給食費とか、トータルに考えてどうなんですか、この上昇気味のやつを考えというのは。

今回はこれ、補正で対応という形ですが、これから電気代が下がると思えないのです。そういったところの考えがあれば、聞かせてもらいたいと思うのです。

鈴木委員長 課長。

菊地教育総務課長 2点ほどお尋ねがありました、ちょっと難しいところもあるのですが、

まず、東電の補償とかみ合わせていけないのかというようなご質問で、これについては果たしてこういうものが補償の対象になるかどうかというのは、非常に今の時点では疑問でありまして、これは別途勉強をしないと、これについてはできるのかできないのかを含めて、ちょっと勉強させていただきたいと思います。

あともう一つは、給食費の値上げですか。これも本来給食費へは、こういうものというのは転嫁すべきものではないと考えますので、当然、これは市の税金のほうで賄うということで、これはむしろ給食費に転嫁というよりも、内部の中で電力をいかに効率的に使うとか、そういうところで電力がアップしていかない効率的な使い方とか、そういうところでもうちょっと内部で検討させてもらいたいと思います。

鈴木委員長 櫻田委員。

櫻田委員 すみません、何回目かなのですが、通常、インシャルをかけてランニングが上ってしまうのは、誰でもできる施策だと思うのです。インシャルをかけてランニングを抑えていくのであればいいのですが、ここでずっとこの状況でいくと、電気代は多分1.何倍とか、幾らとあって、上げ率もどんどん当然向こうからいわれ

てそのままだと、確かにこういうものは補填できないといっても、かなりこれはデメリットが多いのではないですか、設備に対して。

その辺は精査してやってもらうのが重要だと思うのですが、例えばIHから何々に変えるとか、そういった計画は今のところはないというお考えでいいのでしょうか。

鈴木委員長 課長。

菊地教育総務課長 給食のつくり方とか設備を変えるというような考えは、現時点では持っておりません。

鈴木委員長 櫻田委員。

櫻田委員 電気代が690万で、普通の人によってはびっくりするような金額だと思うのですが、前年に対してどのぐらい上がるのか。補正を組んだ理由もそこだと思うのですが、どのぐらいの上昇だったかという細部の数字をよろしく願います。

鈴木委員長 課長。

菊地教育総務課長 現時点で一番正確な数字では、昨年度の電気費分の18.5%、現時点ではアップするという見込みをしております。

鈴木委員長 櫻田委員。

櫻田委員 それからもう1点ですが、学校の耐震、これは臨時元気交付金に伴う、そういった措置で前倒しをするという考えでいいのですね。基本的に自民党政権になって出てきた施策だと思うので、今までそういった施策がなかったではないですか、臨時元気交付金という制度自体が。結局、それを上手に使うためにこのような形でやりますという基本方針でいいのですか。

鈴木委員長 部長。

山崎教育部長 お答えします。

若干櫻田委員の質問に反するような意見を申し上げるようになるかと思えますけれども、耐震改

修の加速化、あるいは27年度までというのは、旧民主党時代に打ち出されたものです。

それで、この元気交付金以前にも、この交付金はそのときどきの景気対策ということで、名称は定かではありませんけれども、光を当てるとか、そういった交付金も過去にあったのです。それは、要するに我々が進める事業の裏財源として充当するだけの話で、民主党から自民党にかわったために、交付金自体はそういう名称で出てきていますけれども、基本的には耐震は通常どおりの考え方でやっていく。

ただ、補助金に対しては、国庫補助金に関しては前倒しということもあって、この景気対策に絡んだ交付金の増額ということがあります。ですから、先ほど課長から上乘せ分が通常の国庫負担金よりもあるのですと、今回の自民党政権の施策で。

ただその裏財源、本来であれば市債と一般財源というか、市の持ち出しで対応しなければならないところをその元気交付金によって裏財源に充てるという、その振り分けの結果、こういう形になったので、この交付金が出てきたからこれを当て込んで前倒しにやったかということ、若干それは違うニュアンスがあります。

以上です。

鈴木委員長 ほかに質疑ございますか。

高久委員。

高久委員 同じページの7ページ、小学校管理運営、小学校の設備事業、301事業、高林小学校の特別支援学級の間仕切りという形なのですが、間仕切りでいいのかということ、私は違ったように聞いているのですが、間仕切りのほうがいいのですみたいな先生もいるし、ちゃんとしたほうがいいのではないとか、応急的なものなのか、これのほうがいいということでの間仕切りなのか、そのことを教えていただきたい。

鈴木委員長 課長。

菊地教育総務課長 これは基本的には、普通教室に特別支援を要する子どもさんがいますけれども、その子どもさんというのが、知的な支援を要する子どもさんと情緒が安定していないお子さんお二人なのです。その方たちが同じ教室で、特別支援ということで一括りで学習するのではなくて、やはり今のところは間仕切りというか、簡易なスクリーンを立てて勉強しているわけなのです。

ですから、本来であれば、理想を言えば、別々の教室でやるというのが理想だと思うのですが、これも年度によって子どもさんの数というのが変わってきますので、現時点で高林も25年度から始まったものですから、現行の普通教室をスクリーンで切って、知的の方にしても知的支援、そして情緒支援の子どもさんが今二人というような状況で、今簡易スクリーンを立てて学習しております。

将来というか、来年度以降、高林小学校は穴沢と戸田と合併をするということで、こういうお子様もふえてくと現時点では予想もしております、それで教室を特に建て増しするというわけではないので、現在の普通教室のところに今度は簡易スクリーンではなくて、しっかりとした壁をつくって、一つの教室というぐらいに分けるような設備に変更することによって、情緒と知的障害のある子どもさんたちが余り影響を受けないように、学習するためにつくるものです。

ですから、委員からのご質問のような、本来であれば余裕があってきちんとそれだけの教室が備えられれば、本来であれば別に普通教室のような空間にすることだと思います。

以上です。

鈴木委員長 ほかに質疑はございますか。

齊藤委員。

齊藤委員 この耐震補強のほうの事業に関しまして、全小学校、中学校の完成率がどのぐらいまでいったのかを教えてください、これをやることによって。

鈴木委員長 課長。

菊地教育総務課長 この8校分、これをやることによりまして90.9%の改修率になります。

鈴木委員長 齊藤委員。

齊藤委員 あと何校ほど、今後ですね。

鈴木委員長 課長。

菊地教育総務課長 最終年度は27年度なのですが、11棟をやって全部完成なのですが、学校数でいきますと8校です。小学校6校、中学校2校、最終年度はあります。トータルは11棟。

あと、一部ちょっと訂正をさせていただきます。

この前の9月議会で答弁したところで、90.2%というお答えをしておりますので、小数点のほうで先ほど私は90.9%と答えたということで、90.2%に訂正をお願いしたいと思います。

鈴木委員長 ほかに質疑はございますか。

〔「なし」と言う人あり〕

鈴木委員長 質疑がないようですので、質疑を終了いたします。

討論を許します。

討論ございますか。

〔「なし」と言う人あり〕

鈴木委員長 討論がないようですので、討論を終了いたします。

採決いたします。

議案第79号 平成25年度那須塩原市一般会計補正予算(第8号)を原案のとおり可決すべきものとすることに異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

鈴木委員長 議案第79号は全員異議なく可決すべきものと決しました。

次第にはございませんが、その他で委員の皆さんから何かございますか。

(その他の質疑)

鈴木委員長 それでは、教育総務課の審査を終了いたします。

お疲れさまでした。

ここで執行部の交代に伴い、暫時休憩いたします。

休憩 午後 1時24分

再開 午後 1時26分

鈴木委員長 それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

学校教育課の審査 午後 1時26分

鈴木委員長 学校教育課について審査を行います。学校教育課については常任委員会に対する付託案件がありませんので、予算審査特別委員会第2分科会に切りかえ審査を行います。

学校教育課の皆様申し上げます。

議案の説明に当たりましては、簡潔明瞭をお願いを申し上げます。

議案第79号の上程、説明、質疑、討論、採決

鈴木委員長 それでは、議案第79号 平成25年度那須塩原市一般会計補正予算(第8号)を議題といたします。

執行部の説明を求めます。

課長。

菊池学校教育課長 (議案第79号について説明。)

鈴木委員長 説明が終わりましたので、質疑を許します。

櫻田委員。

櫻田委員 それでは、13ページの新規いじめ対策コンソーシアムというのは、この間、高林小中学校でやったあの事業なのですか、お伺いいたします。

鈴木委員長 課長。

菊池学校教育課長 ご指摘のとおり、あの事業の一環としてやっているものです。

以上です。

鈴木委員長 櫻田委員。

櫻田委員 では、あの事業を今後、新規事業ということで出ているのですけれども、今後はどういうふう to 発展させていくのですか。

鈴木委員長 課長。

菊池学校教育課長 第4日目が、この12月17日に別の講師で行われます。

その後、このいじめコンソーシアムの運営協議会委員メンバー、これは副市長、教育長が入っておりますけれども、そのメンバーと、実際に今回もかかわっている担任の先生方、それから児童生徒の意識調査等を検討いたしまして、一応今年度中に2月ごろ市の各小中学校の担当者を集めまして、このプログラムの趣旨と、それからプログラム開発に至った経緯、実際のプログラムの内容について説明をいたしまして、各学校での取り組みを願いたいと考えています。

以上です。

鈴木委員長 櫻田委員。

櫻田委員 今2学期制なのであれなのですけれども、12月のこのせっぱ詰まったような時期に、ど

うしてああいう事業をしたのかという疑問があるのです。

それで、たまたま2年生で、ここで中学校で言ったので中学校なのですから、ああいったのがいじめ対策に結びつくのか、学者の先生方がやっているのですから非常に理解に苦しむところもあったのですけれども、どういうふうなあれでいじめ対策なのか、その辺を選んだ経緯ですね、この事業を。その辺だけ詳しく説明してもらいたいのです。

鈴木委員長 課長。

菊池学校教育課長 ご指摘のとおり、この運営協議会のメンバーにつきましては、大学の教授を中心にいたしまして、実際に講師として3名の先生方をお願いしております。

まず目的、いじめコンソーシアムのほうは、文部科学省のいじめ対策事業のほうの委託を受けてNPO法人のほうで実施して、それを本市のほうで実際に研究事業等をやっているというふうな状況です。

具体的にいいますと、直接的にいじめ対策ということよりも、自分の考えをきちんと相手に伝える。相手の考え方をきちんと自分で受けとめるという、論理的な思考過程をきちんと子どもたちに植えつけようという考え方です。

もう一つは、自分の気持ちを相手に伝えるときに、やはりイエスカノーだけではなくて、きちんと相手の気持ちを考えながら自分の考えを説明できるような、そういうことを子どもたちに植えつけることによりまして、いじめ、つまり相手の気持ちを受けとめる、そういうことができる子どもを育てていこうという考えが基本的にあります。

そういう中で、この論理的な思考力というものを培っていこうというのが、この研究会の、コンソーシアムでの考え方です。

以上です。

鈴木委員長 櫻田委員。

櫻田委員 ということは、この事業は今後、小学校が25校、中学校が10校で、全ての学校で将来的に行っていくというような見解でいいのですか。

鈴木委員長 課長。

菊池学校教育課長 もちろん、その効果がきちんと検証されていて、本市の子どもたちに有効であるということが検証できれば、その方向で進んでいきたいと思っています。

ただ、今の現時点ではこれを即、例えば小学校25校、中学校10校全ての学校にこれを取り組むということは、まだ今のところ検討中でありまして、まだ結論は出ておりません。

以上です。

鈴木委員長 ほかにございますか。いいですか。

〔発言する人なし〕

鈴木委員長 それでは、質疑がないようですので、質疑を終了いたします。

討論を許します。

討論ございますか。

〔「なし」と言う人あり〕

鈴木委員長 討論はないようですので、討論を終了いたします。

採決いたします。

議案第79号 平成25年度那須塩原市一般会計補正予算(第8号)を原案のとおり可決すべきものとするに異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

鈴木委員長 議案第79号は全員異議なく可決すべきものと決しました。

次第にはございませんが、その他で委員の皆さんから何かございますか。

〔発言する人なし〕

鈴木委員長 ないようですので、学校教育課の皆さんから何かございますか。

〔「特にありません」と言う人あり〕

鈴木委員長 それでは、学校教育課の審査を終了いたします。

お疲れさまでした。

ここで執行部の交代のため、暫時休憩いたします。

休憩 午後 1時34分

再開 午後 1時35分

鈴木委員長 それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

生涯学習課の審査 午後 1時35分

鈴木委員長 生涯学習課について審査を行います。生涯学習課については常任委員会に対する付託案件がありませんので、予算審査特別委員会第2分科会に切りかえ審査を行います。

生涯学習課の皆様申し上げます。

議案の説明に当たりましては、簡潔明瞭をお願い申し上げます。

議案第79号の上程、説明、質

疑、討論、採決

鈴木委員長 それでは、議案第79号 平成25年度那須塩原市一般会計補正予算（第8号）を議題といたします。

執行部の説明を求めます。

課長。

稲見生涯学習課長 （議案第79号について説

明。）

鈴木委員長 説明が終わりましたので、質疑を許します。

質疑ございませんか。

金子委員。

金子委員 今、防犯カメラのあれは1つだけつけるということで、どの辺を見るのかということ。

あとは、ケンポナシがこうなっているけれども、そういうものがどのくらい数があるのか。それは直接これと関係ないのかもしれないけれども、そういう天然記念物ですか、幾つくらいそういうので文化財のほうでは見ているのかどうか。

鈴木委員長 課長。

稲見生涯学習課長 まずは博物館の防犯カメラでございますが、四角い建物でございまして、警察側からは4面全てに4つのカメラをつけてほしいということで要求をさせていただいたのですが、財政のほうから予算を切られまして、カメラの台数を少なくして予算の範囲内でやってほしいということでしたので、西側と北側の駐車場の2つ、一番大きいほうの、西側は入り口がございまして、どなたが入ってきたか全てわかるようになりますので、その2つは最低限つけなければならないと思うのです。補正予算が可決されましたら、すぐに設計の変更に着手しなければなりません。今のところ最低2カ所はカメラをつけたいと考えております。

それから、ケンポナシの天然記念物でございますが、全て覚えておりませんので、担当係長のほうから説明をさせていただきたいと思っております。

鈴木委員長 係長。

小池生涯学習係長 先ほどご質問をいただきました天然記念物のうち、いわゆる巨木、古木についてですが、一本立ちのものですと市指定の天然記念物が19本、あと国指定の特別天然記念物で逆杉

が1本ございます。合計で市内が20本、古木と巨木がでございます。

鈴木委員長 齊藤委員。

齊藤委員 ちょっと教えてほしいのですけれども、8ページの放課後児童対策費、これは児童クラブ運営ですね。補助的委託料と補助金の内容を教えてもらってよろしいですか。

鈴木委員長 詳細について。

齊藤委員 はい、そうですね。

鈴木委員長 課長。

稲見生涯学習課長 これにつきましては、国・県補助の補助採択の基準額というものがあまして、これにつきましては1つ例としまして、ふたばという黒磯小を例にとりてご説明させていただきますが、国・県補助金の合計額は212万8,000円でございますが、私どものそれは3分の2が補助ということでございまして、残り3分の1は市の持ち出しということでございます。

基本補助がそういうことで320万円程度、これに開設時間を延ばしますと時間加算というのがございます。それが3万7,000円ほどつきます。それから、開設日を多くしますと、それにつきましても補助がふえますので、それが42万円。それから、支援児加算ということで、支援しなければならぬ児童さん、障害などを持った児童さんがいらっしゃいますと、それについても加算がつきますので、それが121万2,000円。

それ以外に市単独で補助している分がございませぬ。これが大規模加算ということで、これが28万5,000円です。それから、修繕費が一律に3万円。燃料費が4万円。指導員さんの研修費が1万円。消耗品が定額で1万2,000円。それから、指導員さんの健康診断料、その他細かいものを含めまして、補助裏の部分の今回の補正の部分と、当初予算で切られてしまった部分の復活の部分と、その

2つを合わせてのせるようになります。

以上でございます。

鈴木委員長 ほかに質疑はございますか。

相馬委員。

相馬委員 黒磯図書館の雨漏りなのですが、これは何回か修理をしているということなのか、それとも今回が初めてなのでしょうか。あと自動ドアも開設以来ずっとそのまま使っているのか、それとも何回かやっているということなのでしょうか。

鈴木委員長 課長。

稲見生涯学習課長 雨漏りの修繕は、今回が初めてでございます。それから、自動ドアの修繕は、一度軽微な修繕を過去にかけたことがあると聞いておりますが、大きな修繕は今回が初めてでございます。

鈴木委員長 相馬委員。

相馬委員 何年ぐらいに修理したのかというのはわかるでしょうか。

鈴木委員長 課長。

稲見生涯学習課長 これはちょっとわかりません。

鈴木委員長 ほかに質疑ございますか。

〔発言する人なし〕

鈴木委員長 それでは、質疑がないようですので、質疑を終了いたします。

討論を許します。

討論ございますか。

〔「なし」と言う人あり〕

鈴木委員長 討論がないようですので、討論を終了いたします。

採決いたします。

議案第79号 平成25年度那須塩原市一般会計補正予算(第8号)を原案のとおり可決すべきものとするにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

鈴木委員長 議案第79号は全員異議なく可決すべ

きものと決しました。

次第にはございませんが、その他で委員の皆さんから何かございますか。

(その他の要望、質疑)

鈴木委員長 それでは、生涯学習課の審査を終了いたします。

お疲れさまでした。

ここで執行部の交代のため、暫時休憩いたします。10分間、休憩になります。2時10分から再開となります。

休憩 午後 1時58分

再開 午後 2時07分

鈴木委員長 それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

スポーツ振興課の審査 午後 2時07分

鈴木委員長 スポーツ振興課について審査を行います。スポーツ振興課については常任委員会に対する付託案件はございませんので、予算審査特別委員会第2分科会に切りかえ審査を行います。

スポーツ振興課の皆様に申し上げます。

議案の説明に当たりましては、簡潔明瞭をお願いを申し上げます。

議案第79号の上程、説明、質疑、討論、採決

鈴木委員長 それでは、議案第79号 平成25年度那須塩原市一般会計補正予算(第8号)を議題と

いたします。

執行部の説明を求めます。

課長。

田代スポーツ振興課長 (議案第79号について説明。)

鈴木委員長 説明が終わりましたので、質疑を許します。

質疑ございませんか。

〔発言する人なし〕

鈴木委員長 質疑がないようですので、質疑を終了いたします。

討論を許します。

討論ございませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

鈴木委員長 討論がないようですので、討論を終了いたします。

採決いたします。

議案第79号 平成25年度那須塩原市一般会計補正予算(第8号)を原案のとおり可決すべきものとすることに異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

鈴木委員長 議案第79号は全員異議なく可決すべきものと決しました。

次第にはございませんが、その他で委員の皆さんから何かございますか。ありませんか。

〔発言する人なし〕

鈴木委員長 それでは、スポーツ振興課の皆さんから何かございますか。

〔「特にございません」と言う人あり〕

鈴木委員長 それでは、スポーツ振興課の審査を終了いたします。

教育部の本定例会における審査は終了となりますが、教育部全体として何かございますか。

部長。

山崎教育部長 ありません。

鈴木委員長 なければ、以上で教育部の審査を終了いたします。

大変お疲れさまでした。

じゃ、ここで休憩いたします。

休憩 午後 2時10分

再開 午後 2時20分

鈴木委員長 休憩を終わります。

以上で、本日は全て予定を終了いたしました。

本日の審査の内容につきましては、本則において報告書を作成し、議長に提出いたします。また、17日の予算審査特別委員会全体会及び18日最終日において、審査の状況を報告いたします。

また、さきにご案内のとおりですが、13日は所管事務調査のため現地調査を行います。

さらに同日、教育委員会での懇談会もございしますので、よろしく願いいたします。詳細については、この後その他で事務局より説明がありますので、よろしく願いしたいと思います。

その他

鈴木委員長 それでは、4のその他に入ります。

それでは事務局、よろしく願いします。

事務局 (その他について説明。)

鈴木委員長 ほかは何か皆さんからありますか。

〔「なし」と言う人あり〕

鈴木委員長 なければ、以上で終わりにしたいと思います。

閉会の宣告

鈴木委員長 ことし最後の常任委員会も終了になりました。

しっかりとした委員長報告もさせていただきたいと思います。

また、さっき話がありましたけれども、委員会を2年間しっかりやっていきたいと、そのように思います。

ありがとうございました。

閉会 午後 2時38分